



学 校 だ よ り

7 月 号

都 筑

令和 8 年 6 月 3 0 日
横浜市立都筑小学校
校 長 大 賀 教 晶

学校 H P <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

『世界の文化に「普通」はない』

都筑小学校 6 年

皆さんは、「人種差別」とはどのようなものだと思いますか。また、「人種差別」について自分事と思って過
ごしていますか。今世界では人種差別で苦しむ人が多くいます。僕は、人種差別は他国の文化の理解不足か
ら起こると考えます。では、どうすればこの人種差別が少なくなるのでしょうか。

僕は次に挙げる2つの事が重要だと考えます。1つ目は、他国の文化をよく知る事です。なぜなら、世界に
は沢山の文化があり、その文化はそれぞれ違う個性をもっています。相手の文化を知らないで、その文化の違
いにより、コミュニケーションが取りにくくなってしまふからです。例えば、国際交流のイベントや、国際理解の授
業などで、積極的に他文化に触れていくことで、他文化をよく知ることがができます。また、都筑小学校には、
「都筑ひまわり」があり、他国に籍をおく人たちと交流を深める機会をもっと増やす事も考えられます。2つ目
は、他国の文化を尊重し合う事です。僕が昔通っていたアメリカにある、多国籍の人が通う学校では、自分が
「差別」される事も、「差別」する事ありませんでした。それは、自国の文化を決して「普通」と思わずに、他
国の文化を尊重していたからだだと思います。実際、言語の壁があっても僕が教えた日本の歌をみんなで楽し
く歌う事ができ、英語が得意でなくても、みんなと楽しく関わっていたクラスメイトをすごいなと思いました。今
挙げた2つの事を進んで行くと、やがて「この国の出身だから、この人はきっと短気だろう」や、「この人はせっ
かちだから、この国の出身かな」などの偏見や、その偏見から起こる差別が減っていくでしょう。

ではなぜこの差別は減らないのでしょうか。それは自国の文化と長い間触れていると、いつの間にか自国
の文化を「普通」だと考えてしまっているからではないでしょうか。「412 万」この数はなんの数だと思いま
すか。この数字は 2025 年末の日本に住んでいる外国人の人数です。日本に住む外国人は年々増えてきてい
ます。このことから外国人と共生していく機会は、少しずつ増えていくでしょう。そこで、差別をなくす第一歩
として、都筑小学校の国際理解教室での学習や都筑ひまわりの人達と交流を深めることが考えられます。

今、世界では沢山の争い事が起こっています。そんな今だからこそ、他国の文化を積極的に知り、尊重する
ことが、とても大切なのではないのでしょうか。世界の文化に「普通」はありません。これからの世界の平和の
ために、自国の文化も、他国の文化も大切と思った上で、自国の文化を「当たり前」と思わず、他国に対する
思い込みを捨て、人種差別をなくしていきましょう。

6 年生が国語の学習で持続可能な社会に向けて、海洋プラスチック、食料廃棄、再生可能エネルギー、いじ
め、男女平等などに対して自分たちが取り組めることを一人ひとりが考えスピーチを行いました。自分の考え
だけでなく、お互いの発表を聞き合い、考える機会となりました。スピーチにもあるように、違いがあっても
誰もが安心して過ごせる学校に向けて、子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思っています。